

▼ジャイパーカ錠 [内]

- 【重要度】 【一般製剤名】ピルトブルチニブ Pirtobrutinib 【分類】
- 【単位】▼50mg・▼100mg/錠
- 【常用量】200mg/日 [適宜減量]
- 【用法】1日1回
- 【透析患者への投与方法】検討されていない (1)
- 【保存期CKD患者への投与方法】重度腎障害でAUC34%上昇するも影響は軽微と判断 (1)
- 【特徴】B細胞受容体の下流シグナル伝達分子であるブルトン型チロシンキナーゼ (BTK) を阻害。野生型 BTK 及び共有結合型の BTK 阻害剤に対して耐性となる C481 変異を有する BTK に非共有結合し、BTK のキナーゼ活性を可逆的に阻害することにより、B細胞性腫瘍の増殖を抑制
- 【主な副作用・毒性】感染症、出血、骨髄抑制、下痢、疲労、末梢性浮腫、関節痛など
- 【安全性に関する情報】出血リスクとなり、術前術後の3〜5日程度は本剤の投与中断を考慮 (1) 皮膚癌などの二次発癌の可能性 (1)
- 【F】85.5% (1)
- 【tmax】
- 【代謝】CYP3A で不活性体に代謝 (1)
- 【排泄】尿中未変化体排泄率 10% (1) 尿中回収率 57% (1)
- 【CL/F】2.02 L/hr (1)
- 【t1/2】18.8hr (1)
- 【蛋白結合率】96% (1)
- 【Vd/F】32.8L/body (1)
- 【MW】479.43
- 【透析性】除去されない (1)
- 【O/W 係数】
- 【相互作用】CYP2C8, 2C19, 3A, P-gp, BCRP を阻害 (1) レバグリニドのCmaxが2倍 (1)
- 【肝障害患者への投与方法】
- 【小児CKD患者における報告】
- 【妊婦・授乳婦への投薬】
- 【主な臨床報告】
- 【更新日】20240921

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。